

# 豊浦中学校 2 年生 ふるさと学習 プレゼン結果

町長および役場職員による検討の結果、提案された 4 案はすべて「不採用（実現見送り）」\*となりました。しかし、中学生ならではの視点や熱意は高く評価されています。

## 1 班 企画案

### 道の駅の商品をおすすめする（ブランディングと PR）



#### 良かった点

単なる PR に留まらず、商品の価値を高める「ブランディング」まで考えた点。



#### 不採用の理由

売り手（道の駅）が何を求めているかの視点が弱かった。ステッカー等の導入による具体的な効果予測（データ）が不足していたため。

## 2 班 企画案

### ちよūdい田舎（SNS / VLOG による町の魅力発信）



#### 良かった点

中学生らしい SNS 活用と、総務省データを用いた説得力のあるプレゼン。



#### 不採用の理由

「バズること」が目的化しており、本来の配信目的が曖昧だった。高価な機材の管理体制まで検討できていなかったため。

## 3 班 企画案

### 豊浦町を繁盛させる（紙媒体での PR 広告）



#### 良かった点

観光客の動線を考えた高い視点。コンビニやタクシーを活用する具体的なアイデア。



#### 不採用の理由

デジタル時代にあえて「紙」を使う説得力の不足。店側の手間（費用対効果）への配慮が足りなかったため。

## 4 班 企画案

### 豊浦町運動会（冬のスポーツ機会の創出）



#### 良かった点

身近な体育祭をヒントに、冬の町民交流へ広げた発想。



#### 不採用の理由

競技内容や募集スケジュールなど、具体的な運営計画が未定だったため。

#### \* 杉谷町長からの総評

どの提案も「豊浦の未来を真剣に考えた魅力的なもの」であり、大人にはない柔らかい発想でした。今回は残念ながら「実現まであと一歩」という判断でしたが、これからも皆さんと一緒に豊浦をよりよくしていきたいと考えています。

